



2021 AT ARTS EXHIBITION

浄厳院現代美術展

織田信長ゆかりの寺からコンテンポラリーアートを発信

～再会～

浄厳院は、織田信長が安土城の築城とともに伊賀と近江の浄土宗総本山として創建した寺で、本堂をはじめ七つの国指定重要文化財を所有している寺院です。天正7年に浄土宗と日蓮宗との間で安土宗論(安土問答)がおこなわれたことでも有名です。歴史的価値と文化財的価値の両面を持つこの寺の荘厳な空間で、昨年から現代美術の展覧会を行っています。今年は、昨年より規模を大きくし、9名の国内作家と4名の海外作家が展示しました。

テーマは、コロナの終息を夢見て『再会』としました。コロナによって分断された人々の心の疲弊を癒やす芸術との再会を目指しました。



10月23日土曜日から11月7日日曜日まで休み無く、10:00~17:00のあいだ、滋賀県近江八幡市安土町慈恩寺744にある、金勝山浄厳院で現代美術展を行ないました。



チケットは、会期中再入場可能で何度も訪れてもらい、茶会やパフォーマンスにも参加・鑑賞してもらいました。

10月23日土曜日・24日日曜日に裏千家のお茶会を開催し、作品を前にアートの話とお茶を提供しました。



11月3日文化の日には、桂勘 Du Yufang Christopher Fryman による舞踏パフォーマンスを、



11月6日土曜日には、Eri Koo こまきのぞみ による音楽とダンスのパフォーマンスを開催しました。

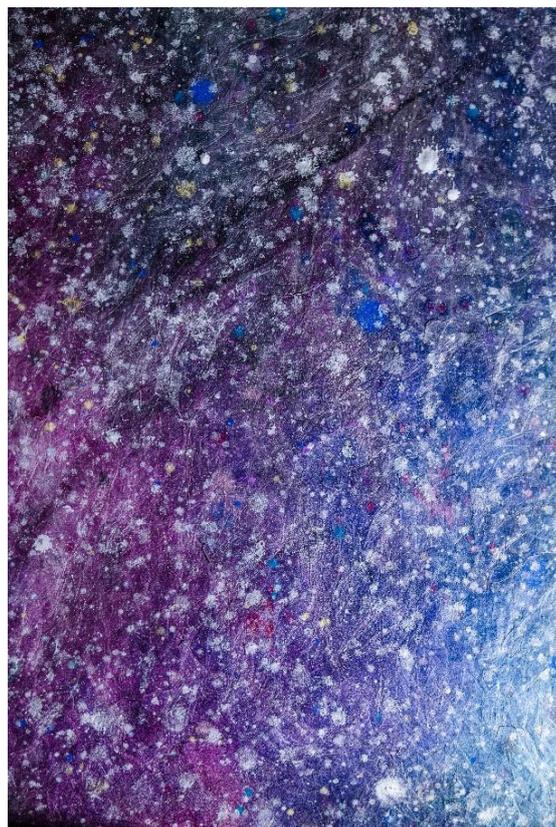


展覧会では、展示だけでなく見に来た人たちと作品について語るギャラリートークを開催しました。

10月30日土曜日31日日曜日に出品作家によるトークを二日に分けて行いました。11月3日・6日のパフォーマンスの後にも出演者、出品者を交えてギャラリートークを開催しました。



西村暢喜 「XXX」





鈴木マヤ子 「МояКухня (私の台所)」



原田要 「絵画の庭-千蛇花」



「絵画の庭-千蛇花II」



「絵画の庭-蓮池III」



「絵画の庭-長蛇花」



小松原智史 「コマノエ」





和田健一 「日常に浮かんだことを、日記を書くように描きとめています。」



「よく晴れた日の朝に」



「兆し」

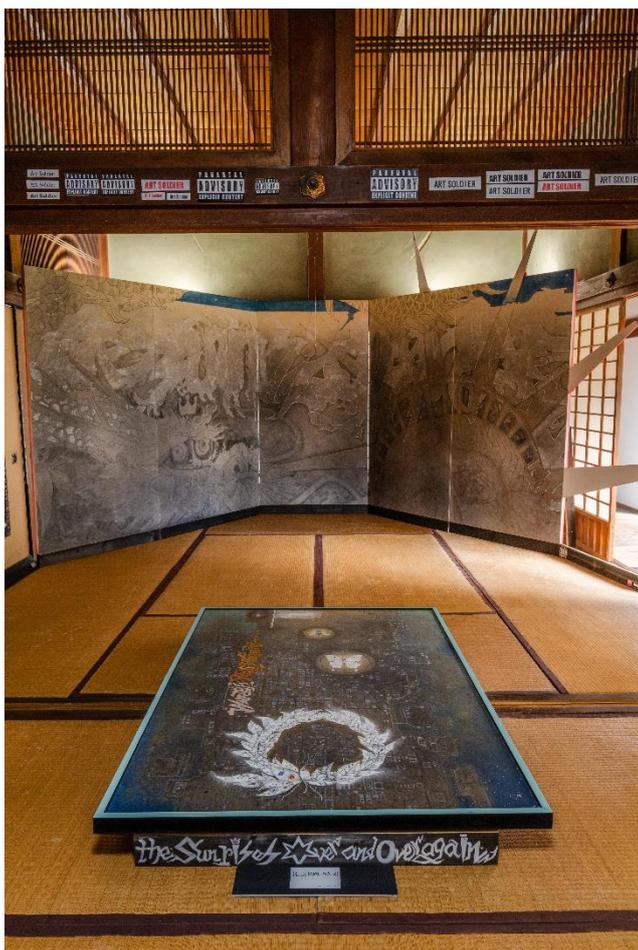


「醒めない夢」

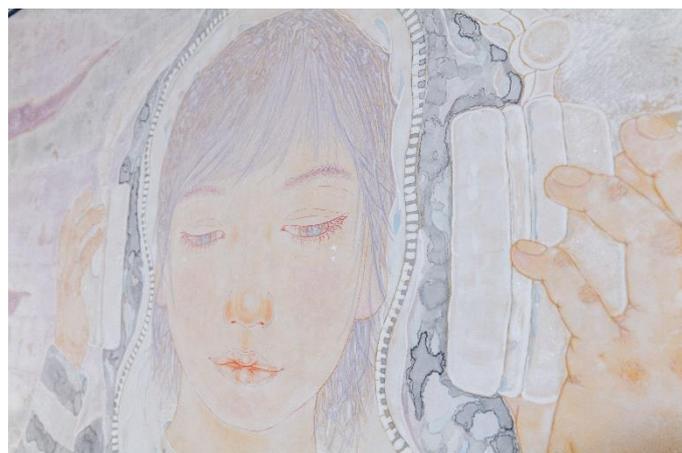


大西健太 「GRAFFITI AREA - NO NAME HERO-」

「約束の地図」



「GRAFFITI AREA - THE SUN」



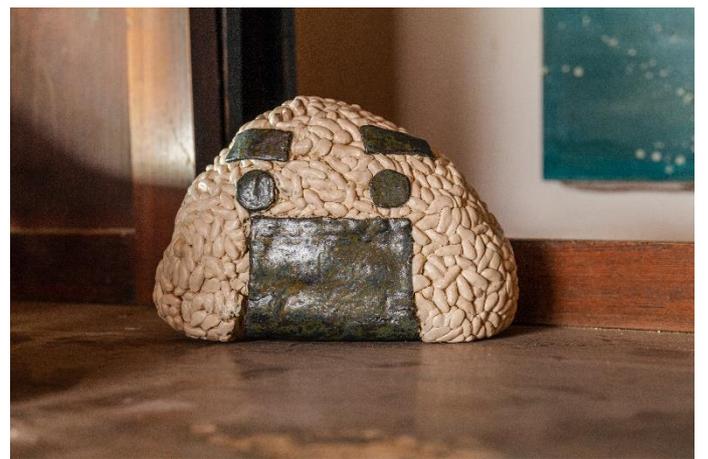
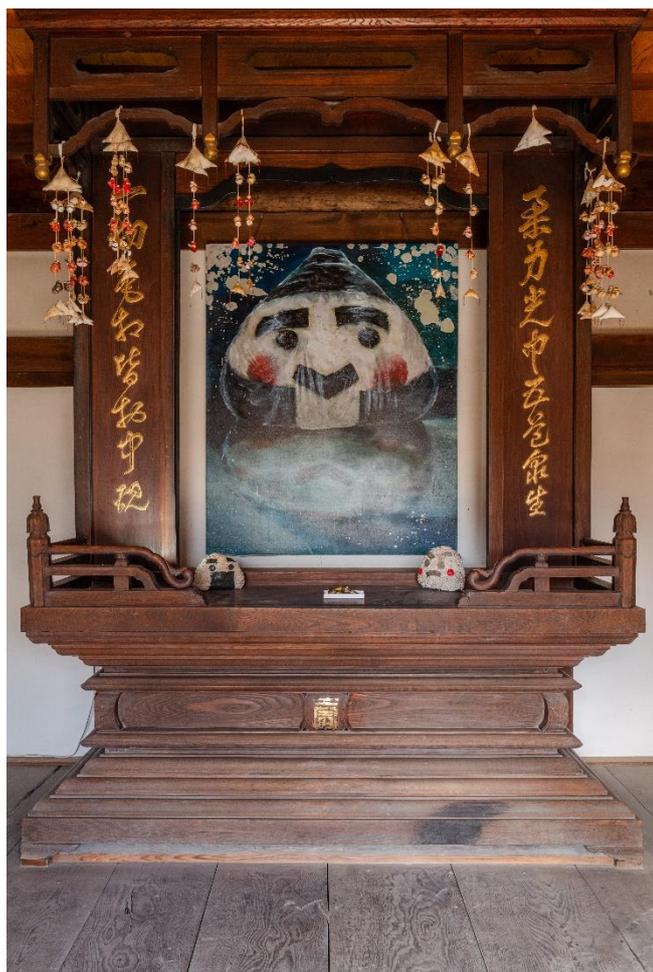
「FREE SOUL」



「BLUE ROAD 2020-21」



佐藤紘子 「おにぎり・食・欲」





勝山信隆



「阿弥陀如来聖衆来迎図・大涅槃図」



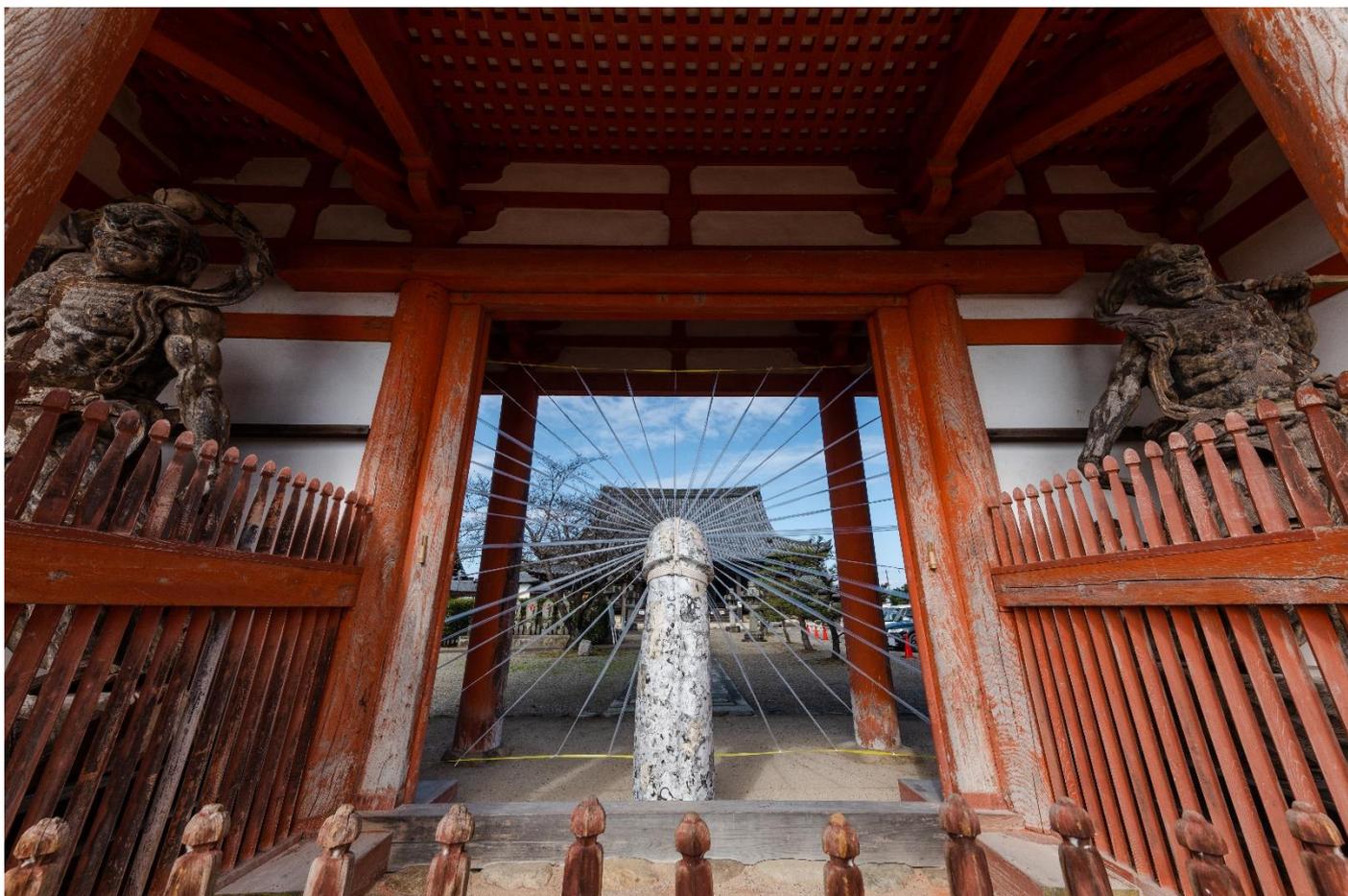
「横になる人」



「嘔吐をする人」

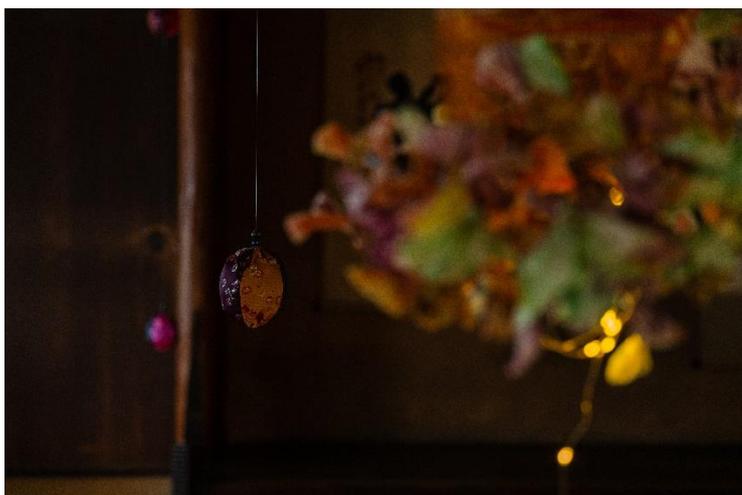


横山栄一 「ぼんのうしゅうちやく仏礼参」



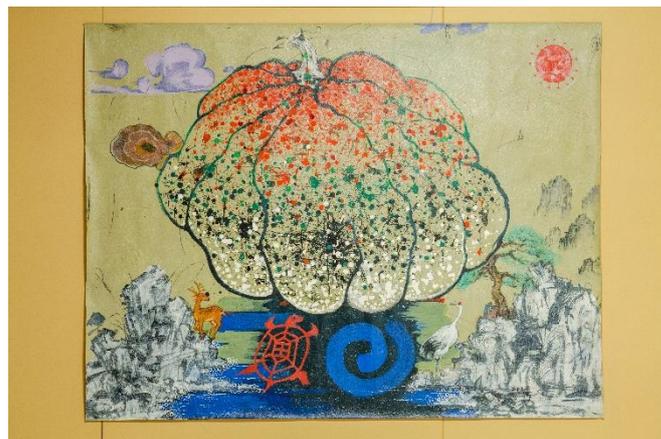
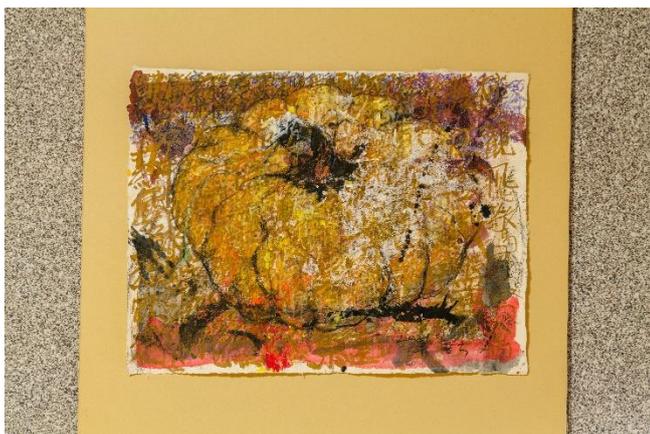


Soon-Young Yang 「Trace of LIFE Shining」





劉鐘局 「The Pumpkin」





Conrad Juscinski 「Positive/Negative」

Jedrzej Hofman 「着物物語」

パフォーマンス

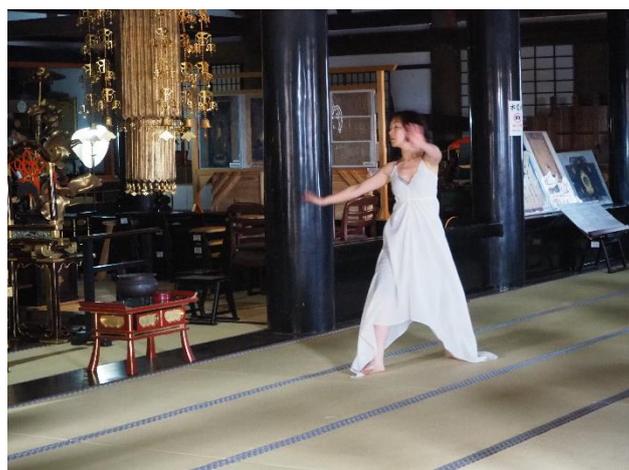


11月3日 舞踏パフォーマンス 桂勘 Yufang Du



10月23日・24日 お茶会

11月6日 パフォーマンス 「空舞」 Eri Koo



0



後援:滋賀県・滋賀県教育委員会
近江八幡市・近江八幡市教育委員会

助成:大阪コミュニティー財団 匿名基金 NO.22
未来へつなぐ滋賀文化活動応援事業
公益財団法人 浄土宗ともいき財団